

第2回竜王地区地域審議会会議録

1 日時：平成25年11月18日(月) 14:00～16:00

2 場所：甲斐市役所竜王庁舎本館4階委員会室B

3 会議次第

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 企画政策部長あいさつ

(4) 議題【諮問】

①新市建設計画の変更案について

(5) 報告事項

②甲斐市市の木市の花の制定について

③甲斐市市のマスコットキャラクターの制定について

(6) その他

(7) 閉会

4 出欠席者

(1) 出席委員〔9名／10名〕

(2) 事務局

小田切企画政策部長、有泉秘書政策課長、坂本企画財政課長

企画財政課財政係：戸澤係長、秘書政策課総合政策係：長田係長、小澤主査、古屋主任

(3) 欠席委員〔1名〕 望月喜房委員

5 新市建設計画の諮問について

・全員承認。会議での意見を基に答申書(案)を作成し、委員に確認後、答申書を市長に提出する。

6 主な質疑

①【諮問】新市建設計画の変更案について

・合併市町村の支所数に応じて交付金を加算するという新聞記事があったが、計画に反映されているか。

⇒現時点では未知数のため反映されていない。

・合併特例債の7割は国の負担だが、残り3割は市の負担である。一般財源を圧迫しないか。

⇒市の財政規模を鑑み、普通建設事業の枠を固め合併特例債を発行することで、一般財源に無理が無い額としている。

・定員適正計画を実施しているが、人件費が平成25年度から26年度で3%増えているのはな

ぜか。

⇒定員適正計画は市職員数 450 人を目標とし、既に達成している。現在は 450 人を維持するが、職員の年齢構成により、採用人数が増減するためである。

- ・新市建設計画の進捗状況はどのくらいか。

⇒合併当初に県に示した合併特例事業は平成 25 年度で概ね完成している。遅れている事業についても、5 年間延長することで救済できる。

- ・5 年間延長することで、合併特例債をどのような事業に活用するのか。

⇒幹線道路、教育施設の整備、農業の土地改良、保育園の立替など精査して活用することを予定している。時代の流れで必要とされる事業も変わってくる。市の財政に有利な特例債を発行する権利を担保したいという趣旨である。

- ・発行限度額を使い切ると、後で苦しむことになる。

⇒本当に必要なものだけ、有利な財源なので使っていきたい。

- ・ルネサスエレクトロニクス閉鎖の影響はどのくらいか。

⇒影響が 2 億 5 千万円ぐらいあるが、その半分が水道料である。税収減については地方交付税で補填されるため、ストレートに影響は無い。撤退による人口減が問題である。

- ・計画でも人口が減少しているが、ルネサスエレクトロニクス閉鎖の影響か。

⇒国の人口問題研究所の推計を使っている。従来は右肩上がりの希望的推計を示していたが、必要な施策をコンパクトにするためには、前提の人口を正しく把握する必要がある。

- ・今回は合併特例債に関する法改正により計画を見直したが、法改正が無ければ見直しはしなかったのか。

⇒総合計画は後期計画作成時に見直した。福祉等の計画は 3 年で見直している。

- ・第一次産業の人口が半減しているが、農業をどうするのか。

⇒市でも赤坂とまとやサツマイモ焼酎など取り組んでいるが、難しい問題である。

- ・普通建設事業費が平成 25 年度まで 30 億から 40 億だったが、平成 26 年度には 22 億に半減しているのはなぜか。

⇒今まで国の景気対策の補助金や交付金を使い、ある意味身の丈を超えた普通建設事業を行ってきた。市の予算規模から考えれば、20 億程度が妥当と考えている。

- ・市内には小さな建設業者も多く、地元で仕事をして雇用や税金などで地域を潤している。そういうことも考えていただきたい。半減はひどい。

⇒地元企業の育成、職場の維持については理解しているがなるべく借金をしない必要もある。

- ・人口減について公表すると、対外的に甲斐市が衰退するという悪いイメージを与えるのではないか。

⇒人口減は事実であり、人口減に基づいた社会資本整備が必要になる。その上で、人口増加策を行いたい。

- ・企業誘致は行っているか。

⇒企業誘致への補助金条例制定の他、色々な企業へアプローチも行っている。

- ・竜王駅周辺整備が中途半端になっているのではないか。

⇒竜王駅整備は駅利用者と通過交通が混在して混雑し、危険な状態であったが、整備により

流れが改善し、所期の目的はかなり達成していると考える。

- ・ 駅が乗り降りするだけの場所となっており、商店が無い。何か規制があるのか。
⇒ 規制は無い。
- ・ 官民一体となって、住民の意見を収集するなどし、まちづくりを行う必要がある。
- ・ 昭和町のイオン周辺と比べて、甲斐市のラザウォーク周辺の発展が遅れている。道も曲がっているため、区画整理が必要。
- ・ 消防車が通れない道がある。幹線道路だけでなく、生活道路の整備も必要。
- ・ 双葉スマート IC のフルインター化は計画しているか。
⇒ 開発 1 号線拡幅のあかつきにはフルインター化を予定している。
- ・ 竜王駅発着の特急を増やして欲しい。
⇒ JR には要望を続けている。

② 甲斐市市の木市の花の制定について

- ・ 市の木市の花が決定したら、どこかへ植えるのか。
⇒ 手法は検討中だが、記念樹として配布、公共施設へシンボルとして植樹、ポケットパークへ植えるなど検討している。

③ 甲斐市市のマスコットキャラクターの制定について

- ・ 著作権や商標権の扱いはどうするか。
⇒ 商標登録を行う予定である。
- ・ 賞金 10 万円では話題にならないのではないか。
⇒ マスコットの全国公募で標準的な金額である。
- ・ マスコットの運営は誰がするのか。
⇒ 検討中である。

その他（要望他）

- ・ 市の表彰について、広報誌等で市民にわかるようにしたほうがいい。
⇒ 推薦団体の総会などで、礼を尽くして伝達するよう依頼している。
- ・ 竜王北保育園の立替について、地元への説明をして欲しい。
⇒ 地元にどこまで説明しているか、担当課に確認する。
- ・ 廃軌道のコニファーについて、管理をする店が不在になるなどして、管理されていないものがあるので、市で管理して欲しい
⇒ 水遣りなどの管理は店などが行うと協定しているが、都市計画課へ伝える。
- ・ やはたいものブランド化に外部知見の導入も必要ではないか。
- ・ 大企業ではなく、小規模の ICT やバイオなどの企業を誘致すべきではないか
- ・ サントリーと協力してぶどう園を増やすことも検討をすべき。
⇒ 市内にある企業と協力することが、市の活性化に繋がる。